

令和6年度 脱炭素事業に関する村民説明会【宇留賀地区】開催要旨

日 時	令和6年7月24日（水） 午後6時00分～午後7時43分
	（第1部 村政懇談会：午後6時00分～6時45分） （第2部 脱炭素事業：午後6時45分～7時43分）
場 所	宇留賀公民館
参加者	14名（村民13名、議員1名）

（第2部 脱炭素事業：午後6時45分～7時43分）

【質問者】

太陽光パネルが載せられない家庭では、蓄電池だけでも設置できるのでしょうか。

【エコロミ】

いくさかてらすの事業の目的として資料にもあるように、蓄電池があることで災害時にも安心いただけるという点があります。太陽光パネルを設置できたご家庭から発電した電力の余剰分を、蓄電池のみのご家庭に供給するようなことを考えており、それで村全体として脱炭素に向けた取り組みをしたいという意味も込めて、蓄電池のみのプランを用意しています。

【質問者】

いくさかてらすの資本金は村からの出資もあるかと思いますので、村民も株主という認識で良いでしょうか。

【村長】

村から600万円出資し、ほか5社から100万円ずつ出資いただき、資本金1,100万円の株式会社いくさかてらすを設立しました。村の一般会計から出資しましたので、村民の皆様も株主という理解で良いかと思います。

【質問者】

村全体で715世帯くらいだと思いますが、シミュレーションにある365世帯は約半数になるわけです。現在の予定はどのような状況にあるのか、何%くらい可能性があるのか、この区内ではどうなのか、行政ではなくいくさかてらすとして教えていただきたいです。

【村長】

社長という立場でお答えをさせていただきますが、令和5年度の調査では、設置をしたいというご世帯数は3桁ありました。その背景もあり、300世帯は太陽光と蓄電池のPPA契約、65世帯は小売のみの契約という仮定でシミュレーションをしています。また目標は365世帯ですが、それ以上になれば野立ての件数は減ります。現在の契約予定数や野立ての件数を申し上げることはできません。野立ての太陽光パネルの設置は、その地区においてまず説明をさせていただき、地区の理解をいただいてからになりますが、最初から多くはやりません。まずは公共施設、事業所、民家から進めていきます。

【質問者】

70歳以上の2人世帯には設置が不可能と聞いたような気がしますが、実際はどのようなのでしょうか。どのような形で脱炭素に携われるのでしょうか。

【村長】

75歳未満の方まではPPA10年プランに加入できますが、75歳以上の場合は小売シンプルプランしか契約できないことになっています。ただ、高齢者の多い生坂村ですので75歳以上の高齢者世帯が200ほどあります。そういう方で希望される場合はいくさかてらすと直接話をさせていただき、個別に対応させていただきたいと思います。行政ではなく民間企業ですので臨機応変に出来る部分はございます。また小売の割安感があまり良くないため、ポイントを付与したり、マル得商品券を電気料の支払いに充てることでお得になったりと、村民の皆様に還元できることを考えています。

【質問者】

太陽光パネルの設置調査をお願いし、現地を実際に見てもらったものの、その後の結果がフィードバックされません。結果を教えてもらえればこちらもこの事業について協力していかなければという気持ちになりますが、もう4ヶ月何も回答がありません。

【村長】

申し訳ございません。他の地区でも同様のお叱りがありました。契約は9月頃から募集をさせていただき、個別に約款を見ていただきながら話を進めたいと考えています。来年の1月頃から電気の供給ができる予定です。調査結果の報告については、近日中に調査会社からご連絡いたします。

【副村長】

初めての事業でそこまで気が回らずに申し訳ないと思っております。今後については、今のようなご意見を嫉妬に真摯に受け止めて早々に対応させていただきたいと思います。これからいくさかてらすを信頼していただきこの事業を村民の皆さんにご理解いただくに

は、一つ一つのことが積み重なって信用を得ていくと思っておりますので、ご意見について本当に深く心の中に刻み込んで対応させていただきたいと思います。役員会の中でも今の状況をしっかりと話し合いながら、村民の皆さまに信頼いただけるいくさかてらすにしていきたいと思います。

【平林建設】

いくさかてらすより調査を依頼されました平林建設です。現時点で180～190件ほどの調査を終えている状況で、その結果はある程度まとまっているところです。しかし、いくさかてらすで契約などの詳細が決まっていない状況もあり、回答は出来れば詳細が決まってからと考えておりました。今の段階でも個々に随時回答は出来ますので、よろしくお願いします。

【質問者】

野立てパネルの設置に関して、住民の理解を得るということでしたが、理解を得られないと判断する基準はあるのでしょうか。

【村長】

各区にて説明をさせていただき、了承を得られた場合に設置をしていきます。基準については、これから決めさせていただきます。地主さんが良いと言うと、反対は出ない場合が多いです。

【質問者】

地主さんが良いと言えば反対が出ないこともあるということですが、例えば広い農地の付いている古民家を買われた方が良いと言えば、設置がしやすくなるのでしょうか。

【村長】

景観条例があり、野立てを設置する周囲100メートルの地主さんの承諾が必要です。そのため、該当する地主さんが反対すれば、設置はできません。

【質問者】

野立てパネルは来年度から設置という計画になっていますが、各区への説明はいつぐらいから始まるのでしょうか。

【副村長】

野立てに関しては民家等への設置状況次第で変動します。最終的に区民の方の理解をいただかないと設置することはできませんし、周囲100メートルの地主さんの同意もなけれ

ば設置することはできません。今は村民の方にご理解をいただけるような場所を選定している状況ですが、民家等への設置状況によってどのようになるか分かりませんので、同時進行で進めていきたいと考えております。

【質問者】

公民館への太陽光パネル設置について、契約の詳しい状況や、どなたが契約を交わして設置を進めていくのか教えてください。また蓄電池だけの契約だと、違約金は年間でいくらくらいになるのでしょうか。

【副村長】

各公民館については、区の役員の方々と区長さんと相談をしながら進めております。地区の同意が得られた公民館については設置をしています。同意を得られていないところは設置をしていません。違約金についてはある程度内容がしっかりした段階で示していきたいと考えております。

【質問者】

既に設置されている小舟の常会の公民館に関しては、詳しい電気料金や契約の内容が示されて契約書を交わして設置をしたのでしょうか。

【副村長】

小舟の施設は条例に載っている通り公の施設です。電気料金については今後お示しながら契約をしていきます。

【質問者】

小舟の公民館の電気料金は区民の方が払っていないということでしょうか。

【副村長】

指定管理を行っておりますので、電気料金は区民の方が支払っております。ですので、電気料金についてはまた契約約款が整った段階でしっかり説明をまいります。

【質問者】

キャッシュフローについてですが、365世帯の加入を想定した20年間の平均収支と考えると、予測される人口減少は加味されているのでしょうか。

【エコロミ】

人口減少は加味した上での収支計画になっています。脱炭素事業は5年間かけてやっていくもので、当初は契約に躊躇される方もいらっしゃると思います。そういった方々が、先に設置した村民の方々の話を聞くなどして興味を示していただければ、徐々に契約者数が増えていき、最終的に5年後に365件に達するという試算で考えています。ただし年齢制限を設けていないシンプルプランもあり、平均寿命的なところを考えると、契約者数は少し減っていくことも想定しています。

【質問者】

木質バイオマスストーブの燃料に、松枯れした材を利用できないのでしょうか。

【村づくり推進室長】

脱炭素事業の中ではやまなみ荘のチップボイラーと、木質バイオマスストーブの導入支援が始まっております。ペレットストーブは針葉樹、薪ストーブは広葉樹が向いており、やまなみ荘のボイラーのチップについては、枯れ松など枯損木のある程度水分が飛んでいるものであれば利用できるようですので、使える部分については活用していきたいと考えています。やはり脱炭素ということで、設備の導入だけではなくて、山における整備の課題ですとか松枯れの課題、またブドウの剪定木も活用できないか、今調査しておりますので、今後活用の方に向けて進めていきたいと思っています。

【質問者】

野立てパネルについてですが、大きなパネルを使うのは景観が悪くなるのでやめていただきたいという意見が結構出ています。

【村長】

メガソーラーの予定は考えていませんので大丈夫です。メガソーラーは景観も損ねますし、当村のこの事業はそういうことは考えていませんので大丈夫です。

【質問者】

太陽光パネルのメーカーはどこでしょうか。何Wの太陽電池モジュールを使っているのか、パワーコンディショナーや蓄電池のメーカーについても教えてください。

【平林建設】

太陽光パネルのメーカーは駒ヶ根にあるネクストエナジーで、モジュールの出力は435Wのものを使用しています。パワーコンディショナーはOEMとなっていますがパナソニック

ク製のもの、蓄電池についてはやはり国産がメンテナンス上も良いということで、一番シェアの大きいニチコン製のものを今のところ採用しています。随時いいものが出てくれば変更になる可能性もあります。パネルの製造自体は中国の工場ですが、設計や品質管理・検査を独自にやって保証するというので、日本のメーカーという扱いになっております。

【質問者】

分かりやすく書いたものなどで教えてもらえると良いです。

【平林建設】

またそういう機会に周知させていただこうと思います。

【質問者】

今年度、民家57世帯のオンサイトが計画通り契約できた場合、来年度の設置計画にあるオフサイトに関しては、事業者や民家の方が使える分を賄えるように設置するのでしょうか。

【村長】

PPA事業はオンサイト（自宅や近くの敷地）とオフサイト（野立て）を同時進行で行っていきます。オフサイトはなるべく必要最低限を考えておりますが、オンサイトの契約数によって左右されるものです。シンプルプランや蓄電池だけのプランですと太陽光発電しませんので、それはオフサイトで賄うか、オンサイトで多めに太陽光発電したその余剰をもらってくるか、そうやって臨機応変にやるものです。ですので、このぐらいのオフサイトの面積が必要ですよというのは分かりません。いくさかてらすが民生部門で脱炭素を達成するように、しっかり協議しながら進めていきます。